

新年あけまして
おめでとうございます
—— 思いつくまに ——

まつや清を応援する会 城北地区代表
伊藤典男



日にちの過ぎるのは早いもので、先の市議会議員選挙において、好成绩で当選してから9カ月が経ちました。今考えてみると、選挙に「ずぶの素人」の私が、後先も考えず選挙活動に飛び込んだ「勇気」はどこにあったのでしょうか。

私は、元タ市の職員であり、「まつや清」議員の存在は知っていました。ジーパン姿にノーネクタイで議会に立つ个性的で若き闊達な議員の印象は今でも思い出され懐かしいです。

平成に入り、縁あって城北町内会に転入されてきた「まつや」さんは、まもなく30年を迎えようとしています。現在は、城北町内会顧問という立場で適切なアドバイスをするなど、運営上欠くことのできない存在になっています。

私は、平成10年から7年間、町内会長を務め多くの問題に直面しました。そのひとつは、公民館建設とその経費負担でした。まつやさんの側面からの応援もあり、20年の返済も終わろうとしています。感謝の気持ちでいっぱいです。

年末恒例のパーティー「きよしとこの夜」で、幅広い層からの参加者の顔ぶれを見た時、そこには、「信頼」という「太いさな」があることを感じました。

私たちは、誠実に行動力のある「まつや清」さんをこれからも応援していきたいと思えます。

政務活動費の使い道や 議会基本条例の見直し 部分的な改善に終わり 残念な気持ち!

代表者会議議事録は閲覧できます!

政務活動費検討会

庁舎以外の議員事務所設置規定(現在1議員のみに支出)や食事・菓子等の提供が飲料のみに変わるなど改善はありましたが、①旅費の日当支給廃止、②外部有識者(第三者機関)による点検の実施、③会派保管の領収書(過年度)の市政情報コーナーへ移管、④海外視察の限度額の取り扱いなど大きな改革に向けた合意に至りませんでした。まつや清・緑の党が強く主張したのは、「日当廃止」、「旅費の実費支給」、「過年度領収書の市政情報コーナーへの移管」でした。

(仮)議会改革検討会

議会基本条例の制定から5年、条例改正を行う条例検討会の設置をめぐり協議が続いていましたが、自民党会派の反対で棚上げ。事前の策として公明党会派から検証提案があり合意の流れができましたが、これも自民党会派の反対で2019年度以降の課題となりました。ただ、議会便りに質問者の名前を入れることは全会派一致となり、市長答弁のあり方(自民党提案)や1問1答の打ち合わせ期間(志政会提案)など今後、決定します。まつや清・緑の党は、条例の検証と議員間討論の実施を強く主張するも共産党以外には他会派からの賛成を得られませんでした。

「地球ハウス学校」 フラットに学び、意見交換の場

- まつや清も市民の一人、市民と一緒に、人口減少社会に備え「幸せ」と素直に言える静岡市の実現をめざします。
- 小さく質の高い静岡市を実現するために、ひとつのテーマを決め、みなさんとじっくり考えます。毎月第4金曜日
- 第4回「災害に備える」 セルフエドレスキュー
1月26日(金) 講師:森田美奈子さん(NPO法人AGrow Wise理事長)東山浩子さん(防災士・自然災害事し研究家)
- 第5回「貧困解消支援」 助け合える社会へ
2月23日(金) 講師:鈴木和樹さん(NPO法人POPOLO事務局長・認定NPO法人フードバンクふじのくに事務局長次長)
- 第6回「文化芸術まちづくり」 アートから始める多様性
3月30日(金) 講師:柚木康裕さん(オフィス スノド代表取締役・静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター)
- いずれも19:00~21:00、参加費は500円
場所:地球ハウス(静岡市葵区鷹匠3-3-1 井口ビル2F)
定員15名 申込みは、
お電話でTEL:054-209-5677(月・水・金 10:00~15:00)

「朝鮮通信史」の 「ユネスコ記憶世界遺産」登録を 喜びたい!

朝鮮通信史は、徳川家康が豊臣秀吉の朝鮮出兵で断絶した日本と朝鮮との国交回復を実現するために始めたものです。登録された333点(日本が209)を越える記録のうち48点が静岡市清水区興津の清見寺に所蔵されています。駿府城に居を構えた徳川家康、家康の平和外交としての「朝鮮通信史」を内外に明らかにしてきたのは、葵区千代田に在住の日本に始めて公立大学の教授に就任された金岡基先生です。両国政府や市民団体同士、釜山市や静岡市など多くの自治体をつなぐ役割を果たしていただきました。従軍慰安婦像や核ミサイル問題など日韓・日朝外交問題が悪化している中だからこそ「朝鮮通信史」の現代的・歴史的な意味の問い返しを求められていると思います。

2016年6月

● 韓国を訪れた際、(釜山)山文化財団代表理事、李文燮氏へ「日韓両国の交流促進について」の議長親書を渡す



静岡市議会2月定例会議日程

【2月8日~3月20日 41日間】

- 3/1・3/2・3/5・3/6 総括質問
- 3/8・3/9 総務委員会 企業消防委員会 市民環境教育委員会
- 3/12 3/13 厚生委員会 観光文化経済委員会 都市建設委員会

まつや清プロフィール

1951年新潟県柏崎市生れ 静岡大学工学部中退
1987年、静岡市議会議員(3期)、静岡県議会議員(1期)、
国会議員政策秘書を経て2009年より静岡市議会議員(3期目)

- 全国自治体議員立憲ネットワーク共同代表
- 南アルプスリニア市民ネットワーク共同代表
- 福島子ども支援基金代表 ■ 親子わくわくふじっ子実行委員会共同代表(福島の子どものための自然体験ツアー)
- 浜岡原発止めます本誌の会共同代表
- 外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会事務局次長
- 城北町内会顧問 ■ 和太鼓サークル「座・鼓電」会員
- 緑の党しずおか所属

EVENT INFO イベント・インフォメーション ※ボランティア募集中

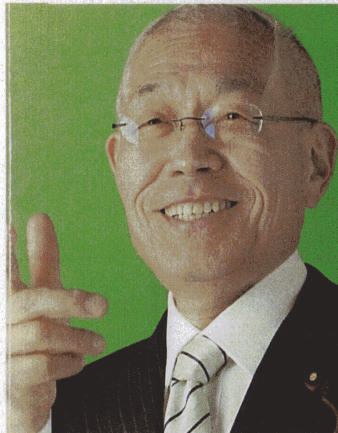
- 城北地区・応援する会「新年の会」2月4日(日) 17:30~
会場:「むさし」にて 会費4,000円
【WSR/マド】による「懐かしいのビートルズ」など演奏あり
- 第4回松風会ランチトーク 2月6日(火) 11:50~13:00
テーマ:「市民文化会館の建替ー減築工法を考える」
会場:議会棟会議室(要申込) TEL:054-254-2111 内線4581 市議会の緑
- 第26回ゴミゼロフェスタ「未だ使えるモノの交換」
4月22日(日) 9:30~14:00 (不用品持込は11:00まで)
会場:南沼上清掃工場

発行:まつや清を応援する会
静岡市葵区鷹匠3-3-1 井口ビル2A 地球ハウス内 TEL054-209-5677

連絡先:まつや清市議会議員控室
静岡市役所本館2階「緑の党 Greens Japan」内 TEL054-254-2111

LOOK! 日々の活動はブログ「まつや清の日記」をご覧ください。

<http://blog.goo.ne.jp/matsuya-kiyoshi/>



マツキヨ通信

2018 初春
2018年
1月15日発行

発行:まつや清を応援する会 〒420-8390 静岡市葵区鷹匠3-3-1 井口ビル 2A TEL054-209-5677
<e-mail>chikyū_house@yahoo.co.jp

静岡市議会議員

まつや清

- ・静岡市議会厚生委員会所属 ・総合交通政策特別委員会所属
- ・議会運営委員会オブザーバー ・各会派代表者会議オブザーバー
- ・超党派太鼓サークル「葵陣太鼓」事務局長

緑の党
グリーンシヤパン

JR東海、地元合意を無視し 本体トンネル工事契約を強行! 田辺市長「納得はまだ」、 川勝県知事「工事着手認めない」

東京地検特捜部、大林組を不正受注で捜査、
鹿島・清水・大成にも拡大!
真相が明らかになるまで全ての工事をストップすべし!

ユネスコエコパーク・世界の共有財産 「南アルプスの自然」を守ろう! 南アルプス写真展準備中!

昨年11月15日JR東海は、大成建設・佐藤工業JVとの工事契約を公表しました。静岡市、静岡県及び大井川流域水利調整協議会は、大井川流域62万人の上水道に影響するといわれる毎秒2t減水への対策、大井川沿いの360万㎡の土砂処分方法、エコパークに指定された南アルプスの自然環境保全について「包括協定」を求めてきましたが、JR東海は「減水の全量回復の意味がわからない」と地元要望を一切無視してきました。こうした工事契約に対し、11月16日、「南アルプスとリニア新幹線を考える市民ネットワーク」と「静岡山岳連盟静岡支部」は直ちにJR東海への抗議とともに、静岡市・県へ土砂・減水・自然保護などの申入れをしました。

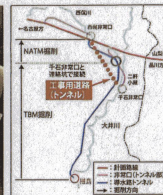
静岡市・田辺市長と静岡県・川勝知事の 連携の重要性

リニア中央新幹線は2027年開業、1都6県・東京一宮古屋を結ぶ286km、86%がトンネル、5.5兆円という大規模な公共工事で、JR東海は「これは民間工事」として来ましたが、自民党から「大阪までの延伸・早期着工」を前提に3兆円の財政投融資を受けたことにより、

まさに国家プロジェクトとなりました。静岡県を除き既に着工となっていますが、沿線住民738人による工事の中止を求める集団訴訟が起こされています。こうした中で田辺市長と川勝県知事の連携は2018年南アルプストンネル工事着工ストップに強力に後押しとなっています。東京地検特捜部の大林組など不正受注強制捜査が始まった以上、真相が明らかになるまで1都6県のあらゆる工事をストップし市民への説明会を開催すべきです。

エコパーク理念との整合を求めた市議会決議、静岡市の環境調査

「南アルプスは、100万年前に海底からの隆起により形成された地形地質で、日本列島誕生に関わる山塊である。3000m級の重量感あふれる山岳景観は、自然保護・景観保全地域としてだけでなく中央構造線など学術的にも価値の高い世界遺産級の山岳地帯である」(元静岡大学学長 佐藤博明氏)という言葉を踏まえて改めて貴重な地域であることを考えさせられます。リニア新幹線沿線自治体で唯一、全会派一致して「南アルプス・エコパーク」の保全について決議し



ています。その議会決議の精神と田辺市長提案の「南アルプス林道条例」、毎年実施の「南アルプス環境調査」を支えに、まつや清は奮闘しています。今年は、南アルプスの雄大な自然と美しさを伝える写真展を山岳団体が計画しています。南アルプスの写真をお持ちの方は、ぜひご協力ください。

JR東海の担当者に対応に驚愕

「松谷市議にお渡しする名刺は ございません」

昨年末、日本山岳連盟静岡支部、市民団体は、JR東海に対して「清水路トンネルだけでは仮に人間を救えなくても、清水路出口上流の自然は破壊されてしまう。水は減水する場所に戻すように」「大成建設との工事契約の中身を明らかにするよう」要望書を提出しました。「文書回答はしない、口頭でおこなう時期は未定」と未だ回答はありません。同行した私、松谷が名刺交換をしようとしたら、「お渡しする名刺はない」との高飛車な対応には、驚くばかりです。

城北から「地域防災」

10月28日

城北学区夜間防災訓練、初めての取り組み!参加者の名簿確認、防災グッズの紹介、体育館への昼搬入。50人ほどの参加者で宿泊体験は16名。北上する台風目前に実践さながらの訓練でした。まつやは不覚にも懐中電灯忘れ後でとりにいくことに。 ※写真は、朝食準備風景



12月3日

参加者400名越える中央高校での避難訓練(北安東4丁目、城北町内会)。学校のプールの水と下水道を活用した水洗トイレ組立設置。1回の貯水量は40人分で、水の補充のための管理者確保が課題。



田辺市政
2018年の
課題



2019年4月は静岡市長選挙。

田辺市長の市民との直接対話スタイルとスピード感こそが問題解決のカギ
「LNG火力発電所は清水区のまちづくりの方向性に合わない」その先は

清水都心をめぐる桜ヶ丘病院移転-清水庁舎改修・建設-LNG火力発電所-国際海洋文化都市拠点施設。昨年9月議会では8月の田辺市長の「LNG火力発電所は清水区のまちづくりの方向性に合わない」とした記者会見に関連して「LNG火力と地産地消・まちづくりについて」質問しました。本来なら市長が「中止」を求めたことでもあり土地所有者であるJXTGや市民、関係団体などすべての利害関係者が一堂に会するプラットフォームの設置を呼びかけてもおかしきありません。しかし、答弁はGXGTGの「提案待ち」の姿勢で、12月議会でも他の議員に同様の答弁でした。さらに、桜ヶ丘病院の移転を前提とした清水庁舎のJRR清水駅前東公園移設について市民との直接対話を行う考えはないとの姿勢も示され大変残念な状況となっています。

まつや 市長の記者会見を受けJXTGが環境影響評価準備書の提出の延期を表明したが、今後、事業者との協議の場を設けるのか。

企画局長 国際海洋文化都市の実現にご協力をいただければ、積極的に情報提供をし、協議の必要性が生じた際には応じていきたい。

まつや 仮に、JXTGがLNG火力発電所とサッカースタジアム等を提案してきた場合、それでも火力発電所はまちづくりの方向性には合わないとの基本姿勢に変わりはしないか。

企画局長 事業者の検討内容について、市民の大方の理解が得られるかどうかをしっかりと見極めたいと考えている。



- 静岡市再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマス等)による総発電量:146万MWH(2011年調査)+大規模水力:75万MWH=221万MWH
- 静岡市の総電力消費量:430万MWH(2013年統計)、221+430=51%(自給可能率)
- そのうち330万MWH(民生+農林水産) 221+330=67%(自給可能率)

行政評価制度における1500事業の第一次内部事務事業評価は甘くない!
人事評価制度と関係しているとの指摘をどう考えるか!

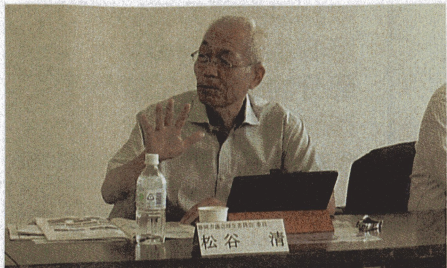
内部評価はS、A、Bの3段階ではほとんどありません。例えば「エネルギー関連産業の立地促進-LNG冷却熱利用企業への発掘」。5社に当たったが実現困難。成果はないので事業評価はBのはずですが、5社に当たったことでA評価。こうした事例に目標のたて方に問題あるのではないかと2016年度の監査委員意見や地方創生推進会議の川北秀人委員からも「数字に魂がない。それは、仮説が弱いから」と指摘されていました。今年度から一時金の中の勤労手当は、行政職の場合、3000人から0.33分をカットした3530万を原資に煩雑で複雑な人事評価制度により上位3割の職員にプラス支給されることとなりました。

まつや 事務事業評価の甘さは人事評価制度に関連しているからではないのか。

総務局長 人事評価は成果を挙げるに至るプロセスも評価するもの。評価の具体的な手法は異なるものと認識している。

まつや 人事評価制度は改善の余地がある。職員にどのように理解を求めているのか。

総務局長 外部講師の指導の下で、局内調整会議研修を実施し、公平性の確保にも努めている。



70万人口を切った静岡市
「人口の奪い合い」を避け
連携中枢都市圏(5市2町)共存と
「ふるさと住民票」の活用を

まつや 総合計画・総合戦略における2025年70万人維持の目標は下方修正していくのか。

政策官 修正は考えていない。70万人という誰にも分かりやすい目標があるからこそ、オール静岡で施策を総動員し、人口減少問題に立ち向かっていける。

まつや 「人口の奪い合いではなく70万人にこだわらない」、「小さく質の高い自治体を目指す」という意味では、「ふるさと住民票」制度の活用は一つの選択だ。法律上だけでなく静岡市に関わりのある方が、5市2町に通勤・通学に2.7万人、全国のおふるさと納税協力者1.2万人(1.5万件)、市外に出た大学生及び市外から静岡市の大学に来た大学生で5800人、合計すると4万4800人の方がいる。静岡市の準住民としてまちづくりに関与してもらえれば地方創生の新たな展開となる。

企画局長 ふるさと住民票がなくても、ホームページによる情報提供、パブコム参加や図書館利用など公共サービスの提供は現在でも充足している。

ふるさと住民票制度とは?

「法律に基づく住民登録している人以外で、様々な理由からその自治体に関わりを持ちたいと考える人」、正規の住民票とは別の「ふるさと住民票」を発行し、まちづくりへの参加(住民投票、パブコムなどの)機会や必要なサービスを提供しようとするもの。全国で10の自治体で取りまわっている。

緒方夕佳熊本市議の「子どもと一緒に本会議出席! どう受け止めるべきでしょうか!

ショック療法的問題提起だったため賛否両論ありましたが皆さんはどのように受け止められたでしょうか。30年前に「生活感覚を市政に」、「まがったキュウリの時代」を掲げ初当選。「ノーネクタイとジーパン」で市議会に出席し、「議会の品位に関わる」として質問途中に自民党議員が抗議の退席。そして、写真週刊誌「フライデー」にも掲載され賛否両論の渦を経験しました。「子育て中の議員や傍聴者、市役所訪問者のための託児所があったらいいな」と思います。先日、出産に立ち会う父親を増やす活動を推進している「おっさんラボ」の会に参加しましたが、全員が「緒方議員の気持ちがとてもよくなる」との感想でした。



厚生委員会報告

静岡市わらしな学園・静岡市わらしなロッジの
民営化案に賛成!
正しい判断であったのか? ご意見お待ちします!

葵区吉津の「わらしな学園」(知的障がい者入所施設 定員80名)と「わらしなロッジ」(知的障がい者通所施設 定員20名)に対しての民営化4条件は、①公が関与しなくても民間による公共サービス提供が可能、②公共サービスの質が変わらない、③事業収入のみで運営している、④利用者からの理解を得ていること、これらを満たしているとして、障害者福祉課からわらしな学園、わらしなロッジ民営化案が提案されました。2回にわたる説明会で利用者の不安は解消されているとの事でした。2法人の2016年度決算状況は、4億円の利用料収入で8000万円の剰余金というもので驚くべき数字です。53名の職員の給与水準についても質問しましたが、市は現状を把握していませんでした。事業者側は、指定管理による期限付き運営は職員の志気を失わせているとの見解を持っており、迷いに迷って、中長期の新たなサービス提供計画、地域貢献、人件費の情報提供という条件で賛成をしました。

県広域化の中での
国民健康保険料の引き下げ請願には賛成
県の第一次試算で静岡市の納付金は197億円、
13億5900万の不足

静岡市は2015年、16年と保険料を連続で引き下げ、2017年度は県広域化の中で据え置きを判断しました。昨年12月の段階で県への保険料の納付金が197億円と示されました。2018年度の保険料収入は、135億円程度。これに国・県の補助金、市独自の産産、葬儀、保険事業支出を差し引くと13億5900万程度の赤字とのこと。61億円の基金のうち20億円を2017年に取り崩しているため、基金は41億円となり3年間は保険料の引き上げはないこととなります。最終納付金や静岡市の法定外繰入金の取り扱いなど未定部分はあり現段階では引き下げは可能との判断で賛成しました。

写真で見る
まつや清
活動の日々



10月14日 ●東京新聞 辣腕官邸記者 望月衣羽子氏 講演会「武器輸出と日本」 続編は11月20日杉原浩司氏講演に期待!



11月3日 ●大道芸WC 恒例の天使の羽 ボランティア(会場内清掃、ごみの分別、マナーアップの呼びかけ)未だ吸い殻ポイ捨て多し



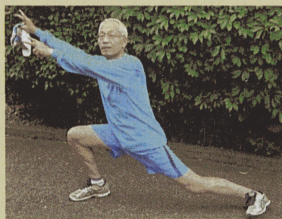
11月13日 ●全国自治体議員立憲ネットワーク(共同代表:松谷清)の会合で立憲民主党、参議院議員福田哲郎幹事長から問題提起。



11月19日 ●第20回外国人のための無料検診会(静岡済生会病院)受診者は20か国131人。100人のボランティア、よく回っています。



12月9日 ●年末恒例「第32回よしよしの夜」パーティー(まつや清を応援する会主催)ゲストに立憲民主党 阿部知子衆議院議員。



12月某日 ●まつや清のストレス解消はマラソントレーニング。3月4日静岡マラソン2018にエントリーするも今年も途中リタイアか?